

表3-2-0 ウラン残渣堆積場周辺の環境試料中のウラン、ラジウム等による放射能レベル(昭和63年度調査結果)と当時収集した既往調査結果との比較

調査対象	項目	調査地域の放射能レベル	国内の環境試料中の放射能レベル (放射能調査専門家会議の収集情報)	単位	備考
河川水	ウラン	ND ~ 0.14	0.01 ~ 0.41	pCi/L	
		ND ~ 5.18	0.37 ~ 15.2	mBq/L	
	ラジウム	ND	0.04 ~ 0.14	pCi/L	
		ND	1.48 ~ 5.18	mBq/L	
土壌(水田土壌)	ウラン	1400	90 ~ 1500	pCi/kg乾土	
		52	3.33 ~ 63.6	Bq/kg乾土	
	ラジウム	1400	70 ~ 3000	pCi/kg乾土	
		52	2.59 ~ 111	Bq/kg乾土	
陸水中のラドン濃度	坑口水、堆積場内沢水	153 ~ 13500	228 ~ 13834	pCi/L	三朝温泉水と比較
		5.66 ~ 500	8.44 ~ 512	Bq/L	
	下流河川	8.5 ~ 215	80.9 ~ 399	pCi/L	三朝川と比較
		0.21 ~ 7.96	2.99 ~ 14.8	Bq/L	
生物質(梨)	ウラン	ND	1.3 ~ 1.8	pCi/kg生試料	
		ND	0.048 ~ 0.067	Bq/kg生試料	
	ラジウム	ND	—	pCi/kg生試料	
		ND	—	Bq/kg生試料	
生物質(精米)	ウラン	ND	0.03 ~ 0.4	pCi/kg生試料	
		ND	0.001 ~ 0.015	Bq/kg生試料	
	ラジウム	ND	0.00 ~ 2.5	pCi/kg生試料	
		ND	0.00 ~ 0.093	Bq/kg生試料	
生物質(白菜)	ウラン	0.18	0.03 ~ 1.8	pCi/kg生試料	
		0.0067	0.001 ~ 0.067	Bq/kg生試料	
	ラジウム	ND	0.5 ~ 3.7	pCi/kg生試料	
		ND	0.019 ~ 0.137	Bq/kg生試料	

○昭和63年度に実施した調査結果(測定値)と周辺地域や国内での既往調査結果(平成元年時点の情報)とを比較したもの

$1\text{Ci}=3.7 \times 10^{10}\text{Bq}$ → $1\text{pCi}=3.7 \times 10^{-2}\text{Bq}=37\text{mBq}$ としてBq単位に換算

注)ウランは、ウラン-238(238U)に換算して比較

ラジウムは、ラジウム-226(226Ra)で比較

ND:検出下限値以下

表3-2-1 ラジウム、ウラン分析結果(第1回調査、平成元年2月実施)

試料名	採取地点	ラジウム		ウラン		単位	備考	
		²²⁶ Ra	²³⁴ U	²³⁵ U	²³⁸ U			
河川水	方面 (方面川水系)	ND (0.08±0.064)	0.039 ±0.0093	ND (0.006± 0.0035)	0.020 ±0.0066	pCi/L		
		ND (2.96±2.368)	1.4±0.34	ND (0.222± 0.1295)	0.74±0.24	mBq/L		
	川上 (川上川水系)	ND (-0.007± 0.060)	0.020 ±0.0051	ND (0.00006± 0.0013)	ND (0.006± 0.0029)	pCi/L		
		ND (-0.25±2.22)	0.74±0.19	ND (0.0222± 0.0481)	ND (0.222± 0.1073)	mBq/L		
	神倉 (神倉川水系)	ND (-0.006± 0.059)	0.10 ±0.015	ND (0.002± 0.0018)	0.092 ±0.014	pCi/L		
		ND (-0.222± 2.183)	3.7±0.56	ND (0.074± 0.0666)	3.4±0.52	mBq/L		
	歩谷 (岩倉川水系)	ND (-0.01±0.062)	0.18 ±0.021	ND (0.002± 0.0024)	0.14 ±0.017	pCi/L		
		ND (-0.37±2.294)	6.7±0.78	ND (0.074± 0.0888)	5.2±0.63	mBq/L		
	別所 (別所川水系)	ND (0.02±0.059)	0.021 ±0.0065	ND (-0.00009± 0.00009)	0.027 ±0.0074	pCi/L		
		ND (0.74±2.183)	0.78±0.24	ND (-0.0333± 0.0333)	1.0±0.27	mBq/L		
	土壌 (水田土)	方面 (方面川水系)	1400±110	1500±80	52±4.2	1400±70	pCi/kg乾土	
			52±4.1	56±3.0	1.9±0.16	52±2.6	Bq/kg乾土	
生物質	梨 方面 (方面川水系)	ND (0.7±1.2)	ND (0.02± 0.0062)	ND (0±0)	ND (0.005± 0.0039)	pCi/kg生試料		
		ND (0.0259± 0.0444)	ND (0.00074± 0.0002294)	ND (0±0)	ND (0.000185± 0.000144)	Bq/kg生試料		
	精米 方面 (方面川水系)	ND (0.7±0.68)	ND (0.02± 0.0089)	ND (-0.0002± 0.0025)	ND (0.01± 0.0092)	pCi/kg生試料		
		ND (0.0259± 0.0251)	ND (0.00074± 0.0003293)	ND (-0.00074± 0.0000925)	ND (0.00037± 0.0003404)	Bq/kg生試料		
	別所 (別所川水系)	ND (1±1.1)	ND (0.02± 0.0082)	ND (0.002± 0.0040)	ND (0.009± 0.0066)	pCi/kg生試料		
		ND (0.037± 0.0407)	ND (0.00074± 0.0003034)	ND (0.000074± 0.000148)	ND (0.000333± 0.0002442)	Bq/kg生試料		
	白菜 方面 (方面川水系)	ND (0.1±0.69)	0.17 ±0.022	ND (0.01± 0.0052)	0.18 ±0.023	pCi/kg生試料		
		ND (0.037± 0.02553)	0.00629 ±0.000814	ND (0.00037± 0.0001294)	0.00666 ±0.000851	Bq/kg生試料		

1Ci=3.7×10¹⁰Bq → 1pCi=3.7×10⁻²Bq=37mBqとして換算
 計数値が計数誤差の3倍を超えるものについて計数値を有効数字2桁で「計数値±計測誤差」と表示し、それ以下のものについては「検出されず(→ND)」として「ND(計測値±計測誤差)」と表示している。
 計数値が計数誤差の3倍を超えるデータについては、その背景を 色にしている

表3-2-3 日本における土壤中の放射性ウラン(²³⁸U)、ラジウム(²²⁶Ra)、トリウム(²³²Th)及びカリウム(⁴⁰K)の含有量

地方・地域	ウラン(²³⁸ U) ^{1),2)}			ラジウム(²²⁶ Ra) ²⁾			トリウム(²³² Th) ^{1),2)}			カリウム(⁴⁰ K) ^{1),2)}		
	重量濃度	放射能濃度		重量濃度	放射能濃度		重量濃度	放射能濃度		重量濃度	放射能濃度	
	(ppm= mg/kg土壌)	(pCi/kg土壌)	(Bq/kg土壌)	($\times 10^{-6}$ ppm =ng/kg土壌)	(pCi/kg土壌)	(Bq/kg土壌)	(ppm =mg/kg土壌)	(pCi/kg土壌)	(Bq/kg土壌)	(ppm =mg/kg土壌)	(pCi/kg土壌)	(Bq/kg土壌)
北海道東部	0.84	280	10.4				3.9	430	15.9	1.46	1020	38
北海道西部	0.53	180	6.7				5.6	620	22.9	1.21	8440	312
札幌				0.44	440	16.3	2.8	310	11.5	0.8	5600	207
東北東部	1.67	560	20.7				3.2	350	13.0	0.89	6210	230
東北西部	1.24	420	15.5				4.0	440	16.3	0.95	6630	245
青森				0.54	540	20.0				0.6	4200	155
盛岡				0.07	70	2.6	4.3	470	17.4	0.7	4900	181
仙台				0.48	480	17.8	3.6	400	14.8	0.6	4200	155
福島	1.04	350	13.0				4.2	460	17.0	1.34	9350	346
郡山				0.10	100	3.7	9.5	1050	38.9	2.0	13000	481
北陸	2.89	970	35.9				5.1	560	20.7	2.77	19300	714
新潟				0.85	850	31.5	6.0	660	24.4	1.9	13000	481
関東東部	1.11	370	13.7				3.0	330	12.2	1.00	6980	258
千葉				0.14	140	5.2	4.0	440	16.3	1.2	8300	307
関東北部	0.26	90	3.3				5.4	590	21.8	1.48	10300	381
関東西部	1.08	360	13.3				5.0	550	20.4	1.45	10100	374
東京(1)				0.09	90	3.3	6.6	730	27.0	1.2	8300	307
東京(2)				0.38	380	14.1	3.6	400	14.8	1.1	7700	285
東海	0.48	160	5.9				3.5	390	14.4	0.86	6000	222
中部	1.67	560	20.7				7.2	790	29.2	2.15	15000	555
岐阜	1.86	630	23.3				8.6	950	35.2	2.38	16600	614
山陰東部	1.61	540	20.0				7.8	860	31.8	2.47	17200	636
山陽東部	1.17	390	14.4				6.3	690	25.5	2.59	18100	670
京都(1)				0.47	470	17.4	7.1	780	28.9	1.9	13000	481
京都(2)				0.60	600	22.2	11	1210	44.8	2.6	18000	666
京都(3)				0.73	730	27.0	9.5	1050	38.9	1.6	11000	407
京都(4)				1.2	1200	44.4	11	1210	44.8	0.4	2800	104
神戸(六甲山)				3.0	3000	111	4.0	440	16.3	3.0	20000	740
神戸(六甲頂上)				1.6	1600	59.2	20	2200	81.4	3.6	25000	925
紀伊	0.99	330	12.2				5.3	580	21.5	1.62	11300	418
山陰西部	1.96	660	24.4				6.2	680	25.2	2.35	16400	607
人形峠(1)				0.26	260	9.6	3.0	330	12.2	2.2	15000	555
人形峠(2)				0.83	830	30.7	19	2090	77.3	2.5	17000	629
松江							7.7	850	31.5	3.2	22000	814
山陽西部	1.29	430	15.9				9.3	1020	37.7	2.69	18700	692
広島				1.3	1300	48.1	17	1870	69.2	3.6	25000	925
山口				0.20	200	7.4	9.2	1010	37.4	0.7	4800	178
四国北部	1.59	540	20.0				6.8	750	27.8	3.18	22100	818
四国南部	0.99	330	12.2				7.5	830	30.7	2.18	15200	562
九州北部	1.34	450	16.7				5.7	630	23.3	1.85	12900	477
九州東部	1.73	580	21.5				6.8	750	27.8	1.26	8790	325
九州西部	2.13	720	26.6				4.6	510	18.9	1.14	7950	294

注)放射能濃度について、文献ではCi単位で掲載。1Ci=3.7×10¹⁰Bq →1pCi=3.7×10⁻²Bq=37mBqとして換算

出典:

1)Health physics Vol.13, 1145~1148 山県登, 岩島清

2)Scientific papers of the Institute of Physical and Chemical Research Vol.56, No.1 p40~46 道家忠義, 高橋寿郎, 東村武信, 武村柁, 長原幸雄, 渡辺博信, 大塚秀子, 岡野真治, 山崎文雄

この表の出典:保健物理 Vol.6, No4, 1971

表3-2-4 鳥取県内の天然ウラン^{NAT}U含有量測定結果

試料名	採取地	調査時期(年度)	試料数、 調査頻度等	ウランの重量濃度		単位	ウランによる放射能濃度		単位									
				試料数、 調査頻度等	重量濃度		重量濃度	放射能濃度										
河川水	東郷町方面	昭和37~45年度	毎月1回	0.2~2.4	μg/L	0.06~0.80	pCi/L	0.06~0.80	pCi/L									
										三朝町片柴	"	0.2~3.0	μg/L	0.06~1.0	pCi/L	0.06~1.0	pCi/L	
																		三朝町神倉
東郷町方面	"	1	3.7	mg/kg生試料	1.25	pCi/g生	1.25	pCi/g生										
									郡家町郡家	"	1	0.5	mg/kg生試料	46.3	Bq/kg生	46.3	Bq/kg生	
																		鳥取市広岡
東郷町方面	"	3	0.0061~0.011	mg/kg生試料	6.3	Bq/kg生	6.3	Bq/kg生										
									東郷町方面	昭和39年度	1	0.004	mg/kg生試料	0.0013	pCi/g生	0.0013	pCi/g生	
																		郡家町郡家
三朝町神倉	昭和39~40年度	2	0.004~0.042	mg/kg生試料	0.0006	pCi/g生	0.0006	pCi/g生										
									三朝町神倉	昭和39年度	1	0.074	mg/kg生試料	0.022	Bq/kg生	0.022	Bq/kg生	
																		東郷町方面
三朝町神倉	昭和39~40年度	2	0.011~0.036	mg/kg生試料	0.0249	pCi/g生	0.0249	pCi/g生										
									東郷町方面	"	2	0.0067~0.022	mg/kg生試料	0.921	Bq/kg生	0.921	Bq/kg生	
																		郡家町郡家
大根	郡家町郡家	"	2	0.037~0.093	mg/kg生試料	0.14	Bq/kg生	0.14	Bq/kg生									
										三朝町神倉	昭和39~40年度	2	0.0037~0.0121	mg/kg生試料	0.0037	pCi/g生	0.0037	pCi/g生
郡家町郡家	"	2	0.081~0.27	mg/kg生試料	0.010	pCi/g生	0.010	pCi/g生										
									三朝町神倉	昭和39~40年度	2	0.0010~0.0025	mg/kg生試料	0.037	Bq/kg生	0.037	Bq/kg生	
東郷町方面	"	2	0.037~0.093	mg/kg生試料	0.037	Bq/kg生	0.037	Bq/kg生										
									郡家町郡家	"	2	0.037~0.093	mg/kg生試料	0.037	Bq/kg生	0.037	Bq/kg生	

出典：鳥取県衛生研究所「放射能調査報告書(V~13)」より抜粋

1Ci=3.7×10¹⁰Bq → 1pCi=3.7×10⁻²Bq=37mBqとして換算

表3-2-5 人形峠周辺の各種試料中の放射性物質濃度(文献調査結果)

測定対象	測定項目	測定値	単位	引用文献
空間積算線量	γ線線量率	6.28 ~ 12.8	μR/h	中島敏行他, 保健物理, 9, 219, (1974)
		0.055 ~ 0.11	μSv/h	
大気浮遊塵	ウラン(U)	0.007 × 10 ⁻¹⁴	μCi/cm ³ =Ci/m ³	放射線医学総合研究所監訳“放射線の線源と影響(1977年国連科学委員会報告書)”p85(1980), アイ・エス・ユー(株), 東京
		2.6E-05	Bq/m ³	
	0.008 ~ 0.12 × 10 ⁻¹⁴	μCi/cm ³ =Ci/m ³		
	3.0E-06 ~ 4.4E-05	Bq/m ³		
河川水	ウラン(U)	0.001 ~ 0.041 × 10 ⁻⁸	μCi/cm ³ =Ci/m ³	Y.Miyake et al., "The Natural Radiation Environment"(1964) p219, Univ. Chicago Press, Chicago
		0.37 ~ 15.2	mBq/L	
	0.04 ~ 0.14 × 10 ⁻⁹	μCi/cm ³ =Ci/m ³		
	1.5 ~ 5.2	mBq/L		
飲料水	ウラン(U)	0.01 × 10 ⁻⁸	μCi/cm ³ =Ci/m ³	L.P.Geraldo et al., J. of Radioanalytical Chemistry, 49(1) 115(1979).
		3.7	mBq/L	
	0.02 ~ 1.6 × 10 ⁻⁹	μCi/cm ³ =Ci/m ³		
	0.74 ~ 59.2	mBq/L		
河底土	ウラン(U)	0.03 ~ 0.43 × 10 ⁻⁵	μCi/g=mCi/kg	P.Stegnar and I.Kobal, "Environmental Migration of Long-Lived Radionuclides"p364(1982), IAEA Vienna
		11.1 ~ 159.1	Bq/kg	
	0.04 ~ 1.94 × 10 ⁻⁵	μCi/g=mCi/kg		
	14.8 ~ 718	Bq/kg		
水田土	ウラン(U)	0.06 ~ 0.15 × 10 ⁻⁵	μCi/g=mCi/kg	H.Morishima et al., J.Radiat.Res., 18, 139(1977)
		22.2 ~ 55.5	Bq/kg	
	0.08 × 10 ⁻⁵	μCi/g=mCi/kg		
	29.6	Bq/kg		
畑土	ウラン(U)	0.08 × 10 ⁻⁵	μCi/g=mCi/kg	亀谷勝昭, 戸村加代子, Radioisotopes, 25(5), 410(1976)
		29.6	Bq/kg	
	0.08 × 10 ⁻⁶	μCi/g=mCi/kg		
	2.96	Bq/kg		
未耕土	ウラン(U)	0.07 × 10 ⁻⁵	μCi/g=mCi/kg	放射線医学総合研究所監訳“放射線の線源と影響(1977年国連科学委員会報告書)”p70(1980), アイ・エス・ユー(株), 東京
		25.9	Bq/kg	
	0.07 × 10 ⁻⁵	μCi/g=mCi/kg		
	25.9	Bq/kg		
精米	ウラン(U)	0.63	pCi/kg生試料	J.H.Harley CONF-690303, (1969), p189
		0.023	Bq/kg生試料	
	0.27	pCi/kg生試料		
	0.010	Bq/kg生試料		
白菜	ウラン(U)	0.11 ~ 0.69	pCi/kg生試料	H.Morishima et al., J.Radiat.Res., 18, 139(1977)
		0.0041 ~ 0.026	Bq/kg生試料	
ホウレンソウ	ウラン(U)	0.58 ~ 4.73	pCi/kg生試料	K.Kametani et al., Radioisotopes, 30, 681(1981)
		0.021 ~ 0.18	Bq/kg生試料	
	0 ± 0.54	pCi/kg生試料		
	0 ± 0.020	Bq/kg生試料		

出典: 昭和62年度人形峠周辺の環境放射線等報告書(昭和63年6月岡山県環境保健センター)

1R=8.77×10⁻³Gy≒Svで換算

1Ci=3.7×10¹⁰Bq →1pCi=3.7×10⁻²Bq=37mBqとして換算

表3-2-6 岡山県上斎原村における精米、野菜の過去の測定結果

項目	区分	精米		ホウレンソウ		ハクサイ		濃度単位
		最大	最小	最大	最小	最大	最小	
ウラン	昭和54～62年度 (1979～1987年度)	0.4	0.03	1.92	0.20	1.8	0.03	pCi/kg生試料
		0.0148	0.00111	0.07104	0.0074	0.0666	0.00111	Bq/kg生試料
		0.11		0.50		0.23		pCi/kg生試料
	昭和63年(1988年) 10月測定	0.0041		0.019		0.0085		Bq/kg生試料
ラジウム	昭和54～62年度 (1979～1987年度)	2.5	0.00	3.3	0.86	3.0	0.5	pCi/kg生試料
		0.093	0.00	0.12	0.032	0.11	0.019	Bq/kg生試料
		0.0		0.7		1.3		pCi/kg生試料
	昭和63年(1988年) 10月測定	0.000		0.026		0.048		Bq/kg生試料

出典：岡山県大気保全課公表資料(1988年10月)

注) $1\text{Ci} = 3.7 \times 10^{10}\text{Bq} \rightarrow 1\text{pCi} = 3.7 \times 10^{-2}\text{Bq} = 37\text{mBq}$ として換算

(1) pCi/kg生試料：生の試料(検体)1kg当たりのウラン、ラジウムの放射能含有量(ピコキュリーorベクレル)

(2) 精米中のウランの最大値(0.4pCi/kg生試料)は、昭和54年秋、赤和瀬の試料で観測

ホウレンソウ " (1.92 ")は、昭和59年春、 "

ハクサイ " (1.8 ")は、昭和54年夏、天王の試料で観測

(3) 精米中のラジウムの最大値(2.5pCi/kg生試料)は、昭和54年秋、天王の試料で観測

ホウレンソウ " (3.3 ")は、昭和60年夏、赤和瀬の試料で観測

ハクサイ " (3.0 ")は、昭和54年夏、天王の試料で観測

表3-2-7 奥津、津山、奈良地域の様々な作物中のウランの濃度(重量濃度)

試料	試料数	地方	ウラン濃度(mg/kg灰化試料)	
			範囲	平均
根菜類	2	津山	0.047~0.074	0.060
	1	奈良	0.087	0.087
	3	奥津	0.015~0.47	0.19
イモ類	2	津山	0.14	0.14
	3	奈良	0.041~0.063	0.052
	1	奈良	0.029	0.029
果実類	3	奥津	0.028~0.12	0.062
	4	奈良	0.044~0.25	0.13
	5	奥津	0.032~0.20	0.088
	3	奈良	0.049~0.22	0.11
	4	奥津	0.009~0.061	0.041
穀物類	3	津山	0.012~0.12	0.063
	3	奈良	0.010~0.023	0.017
	1	奥津	0.087	0.087
	1	奈良	0.057	0.057
	2	奈良	0.10~0.30	0.20
	4	奈良	0.010~0.087	0.043
	7	奥津	0.0019~0.0087	0.0053
	9	奈良	0.0042~0.033	0.020
	9	奥津	0.0082~0.20	0.043
	8	奈良	0.012~0.12	0.043
1	奥津	0.049	0.049	

奥津:奥津地域
津山:津山地域
奈良:奈良地域

出典文献:

HIROSHIGE MORISHIMA, TAEKO KOGA, HIROSHI KAWAI, YOSHIIHIDE HONDA and KOSUKE KATSURAYAMA:
「Studies on the Movement and Distribution of Uranium
in the Environments-Distribution of Uranium in the Agricultural Products」
J. RADIAT. RES. 18, 139-150(1977)

表3-2-8 主要河川水中に溶けている核種濃度

核種	平均値	範囲	
ウラン-238(²³⁸ U)	0.2	0.1 ~ 0.4	pCi/L
	7.4	3.7 ~ 14.8	mBq/L
トリウム-232(²³² Th)	0.003	0.001 ~ 0.006	pCi/L
	0.111	0.037 ~ 0.222	mBq/L

単位: 上段pCi/L、下段mBq/L

注) 文献ではCi単位で掲載。1Ci=3.7×10¹⁰Bq → 1pCi=3.7×10⁻²Bq=37mBqとして換算
 出典: 財団法人 原子力安全研究協会 生活環境放射線(能)データ集(1983)

表3-2-9 食品中のラジウム-226(²²⁶Ra)の放射能濃度

試料名	ラジウム-226(²²⁶ Ra)の放射能濃度	
	(pCi/kg)	(Bq/kg)
ホウレンソウ	0	0
タマネギ	1.9	0.070
お茶の葉(乾燥試料)	32	1.2
お茶*	1.1	0.041
紅茶(乾燥試料)	39	1.4
大豆	2.7	0.10
米	1.4	0.052
精米	0.27	0.010
卵	8.4	0.31
牛乳	0.27	0.010
牛肉	0.54	0.020
ワカメ(乾燥試料)	1.6	0.059
イワシ(乾燥試料)	1.9	0.070
イカ	0	0
マグロ	0	0

*: 1kgのお茶の葉で煎れたお茶における²²⁶Raの放射能濃度

注) 1Ci=3.7×10¹⁰Bq → 1pCi=3.7×10⁻²Bq=37mBqとして換算

出典: ²²⁶Ra and ²¹⁰Pb Concentration in Foodstuffs, RADIOISOTOPES, Vol.30, No.12(1981)

表3-2-10(1) 人形峠周辺の陸水、土壌、動植物体中のウラン、ラジウム等の調査結果(2機関でそれぞれ分析した結果)その1(昭和61年度分)

試料名	採取地点	採取日	フッ素		ラジウム			ウラン			
			供試量 L(水) g(土) g(生物質)	分析結果 mg/L(水) mg/kg乾土(土壌) mg/kg生(生物質)	供試量 L(水) g(土) g(生物質)	分析結果		供試量 L(水) g(土) g(生物質)	分析結果		
						pCi/L(水)	mBq/L(水)		$\mu\text{g/L(水)}$	pCi/L(水)	mBq/L(水)
						pCi/kg乾土(土壌)	Bq/kg乾土(土壌)		mg/kg乾土(土壌)	pCi/kg乾土(土壌)	Bq/kg乾土(土壌)
						pCi/kg生(生物質)	Bq/kg生(生物質)		$\mu\text{g/kg生(生物質)}$	pCi/kg生(生物質)	Bq/kg生(生物質)
陸水(飲料水・湧水)	岡山県 苫田郡 上斎原村 天王	昭和61年7月31日	1	0.06	2	-0.004 ± 0.018 ND	-0.148 ± 0.666 ND	2	1.8		
			0.02	<0.15	1	0.04 ± 0.03 ND	1.5 ± 1.1 ND	1	<2.0		
陸水(飲料水・湧水)	" 本村	"	1	0.49	2	0.050 ± 0.023 ND	1.9 ± 0.85 ND	2	<1		
			0.02	0.5	1	0.02 ± 0.03 ND	0.7 ± 1.1 ND	1	<2.0		
陸水(飲料水・井戸水)	" 中津河	"	1	0.03	2	0.13 ± 0.029	4.8 ± 1.1	2	<1		
			0.02	<0.15	1	0.06 ± 0.03 ND	2.2 ± 1.1 ND	1	<2.0		
陸水(飲料水・井戸水)	" 赤和瀬	"	1	0.02	2	-0.040 ± 0.013 ND	-1.5 ± 0.48 ND	2	<1		
			0.02	<0.15	1	0.07 ± 0.03 ND	2.6 ± 1.1 ND	1	<2.0		
河底土	池河川中流	昭和61年10月23日	1	170	1	1300 ± 110	48.1 ± 4.1	5	1.9	640	23.7
			1	170	1	1210 ± 90	44.8 ± 3.3	5	1.4 ± 0.1	470	17.4
河底土	天王	"	1	210	1	3600 ± 170	133.2 ± 6.3	5	3.2	1080	40.0
			1	210	1	2150 ± 110	79.6 ± 4.1	5	3.0 ± 0.2	1010	37.4
土壌(水田土)	苫田郡 上斎原村 赤和瀬	"	1	340	1	1600 ± 120	59.2 ± 4.4	5	3.1	1040	38.5
			1	360	1	1580 ± 100	58.5 ± 3.7	5	2.0 ± 0.1	670	24.8
土壌(水田土)	" 天王	"	1	330	1	1900 ± 120	70.3 ± 4.4	5	4.5	1520	56.2
			1	360	1	1670 ± 100	61.8 ± 3.7	5	3.7 ± 0.2	1250	46.3
土壌(畑土)	" 赤和瀬	昭和61年9月30日	1	300	1	1400 ± 110	51.8 ± 4.1	5	1.8	610	22.6
			1	330	1	820 ± 80	30.3 ± 3.0	5	1.6 ± 0.1	540	20.0
土壌(畑土)	" 天王	"	1	460	1	1900 ± 120	70.3 ± 4.4	5	2.9	980	36.3
			1	420	1	1220 ± 100	45.1 ± 3.7	5	3.1 ± 0.1	1040	38.5
土壌(未耕土)	人形峠南部	昭和61年11月11日	1	280	1	3100 ± 160	114.7 ± 5.9	5	4.5	1520	56.2
			1	280	1	2710 ± 120	100.3 ± 4.4	5	3.3 ± 0.2	1110	41.1
農水産物(精米)	苫田郡 上斎原村 赤和瀬	"	20(生)	0.7	灰1	0.00 ± 0.14 ND	0.000 ± 0.005 ND	灰5	<0.1		
			10(生)	1.0	灰1	0.62 ± 0.24 ND	0.023 ± 0.009 ND	灰5	0.2 ± 0.1	0.07	0.003
農水産物(精米)	" 天王	"	20(生)	0.5	灰1	0.05 ± 0.13 ND	0.002 ± 0.005 ND	灰5	<0.1		
			10(生)	0.9	灰1	0.17 ± 0.22 ND	0.006 ± 0.008 ND	灰5	0.3 ± 0.1	0.10	0.004
農水産物(ハクサイ)	" 赤和瀬	昭和61年10月24日	7(乾)	0.2	灰1	3.7 ± 0.35	0.14 ± 0.013	灰5	0.6	0.20	0.007
			10(乾)	0.2	灰1	1.56 ± 0.37	0.058 ± 0.014	灰5	0.4 ± 0.1	0.13	0.005
農水産物(ハクサイ)	" 天王	"	5(乾)	0.5	灰1	2.0 ± 0.27	0.074 ± 0.01	灰5	0.5	0.17	0.006
			10(乾)	0.2	灰1	0.64 ± 0.24 ND	0.024 ± 0.009 ND	灰5	0.3 ± 0.1	0.10	0.004
農水産物(ウグイ)	" 吉井川(奥津)	昭和61年8月12日	30(生)	0.2	灰1	1.7 ± 0.37	0.063 ± 0.014	灰5	0.6	0.20	0.007
			50(生)	0.1	灰1	1.43 ± 0.56 ND	0.053 ± 0.021 ND	灰5	2.0 ± 0.1	0.67	0.025

昭和61~62年度(1986~1987年度)、岡山県資料か?(日本分析センター、岡山県環境保健センターの2機関でクロスチェック)

上段:日本分析センター分析、下段:岡山県保健環境センター分析

1Ci=3.7×10¹⁰Bq → 1pCi=3.7×10⁻²Bq=37mBqとして換算

ウランについては、2.97μg/pCiで換算

表3-2-10(2) 人形峠周辺の陸水、土壌、動植物体中のウラン、ラジウム等の調査結果(2機関でそれぞれ分析した結果)その2(昭和62年度分)

試料名	採取地点	採取日	フッ素		ラジウム			ウラン				
			供試量 L(水) g(土) g(生物質)	分析結果 mg/L(水) mg/kg乾土(土壌) mg/kg生(生物質)	供試量 L(水) g(土) g(生物質)	分析結果		供試量 L(水) g(土) g(生物質)	分析結果			
						pCi/L(水) pCi/kg乾土(土壌) pCi/kg生(生物質)	mBq/L(水) Bq/kg乾土(土壌) Bq/kg生(生物質)		μg/L(水) mg/kg乾土(土壌) μg/kg生(生物質)	pCi/L(水) pCi/kg乾土(土壌) pCi/kg生(生物質)	mBq/L(水) Bq/kg乾土(土壌) Bq/kg生(生物質)	
陸水(飲料水・湧水)	岡山県 苫田郡 上斎原村 天王	昭和62年7月27日	1 0.02	0.03 <0.15	2 1	-0.00015 ± 0.015 ND 0.02 ± 0.03 ND	-0.006 ± 0.555 ND 0.7 ± 1.1 ND	2 1	<1 <2			
陸水(飲料水・湧水)	" 本村	"	1 0.02	0.61 0.6	2 1	0.0070 ± 0.015 ND 0.00 ± 0.03 ND	0.26 ± 0.56 ND 0.0 ± 1.1 ND	2 1	<1 <2			
陸水(飲料水・井戸水)	" 中津河	"	1 0.02	0.01 <0.15	2 1	-0.0090 ± 0.014 ND 0.00 ± 0.03 ND	-0.3 ± 0.5 ND 0.0 ± 1.1 ND	2 1	<1 <2			
陸水(飲料水・井戸水)	" 赤和瀬	"	1 0.02	0.01 <0.15	2 1	0.0079 ± 0.016 ND 0.03 ± 0.03 ND	0.29 ± 0.59 ND 1.1 ± 1.1 ND	2 1	2.1 <2			
河底土	池河川中流	昭和62年10月6日	1 1	190 150	1 1	2400 ± 96 1590 ± 110	88.8 ± 3.6 58.8 ± 4.1	5 5	4.3 3.5 ± 0.1			0.0 0.0
河底土	天王	昭和62年10月5日	1 1	170 240	1 1	1900 ± 87 1120 ± 90	70.3 ± 3.2 41.4 ± 3.3	5 5	4.3 2.8 ± 0.1			0.0 0.0
土壌(水田土)	苫田郡 上斎原村 赤和瀬	"	1 1	310 360	1 1	1200 ± 71 1100 ± 90	44.4 ± 2.6 40.7 ± 3.3	5 5	3.4 2.3 ± 0.1	1140 770		42.2 28.5
土壌(水田土)	" 天王	"	1 1	330 370	1 1	2100 ± 93 1710 ± 110	77.7 ± 3.4 63.3 ± 4.1	5 5	5.1 3.4 ± 0.2	1720 1140		63.6 42.2
土壌(畑土)	" 赤和瀬	昭和62年9月29日	1 1	350 410	1 1	1500 ± 80 1780 ± 110	55.5 ± 3.0 65.9 ± 4.1	5 5	2.3 1.5 ± 0.1	770 510		28.5 18.9
土壌(畑土)	" 天王	"	1 1	340 370	1 1	1800 ± 88 1770 ± 120	66.6 ± 3.3 65.5 ± 4.4	5 5	2.7 1.9 ± 0.1	910 640		33.7 23.7
土壌(未耕土)	人形峠南部	昭和62年11月30日	1 1	270 270	1 1	2000 ± 92 2280 ± 130	74.0 ± 3.4 84.4 ± 4.8	5 5	3.5 2.4 ± 0.2	1180 810		43.7 30.0
農水産物(精米)	苫田郡 上斎原村 赤和瀬	"	20(生) 10(生)	0.6 1.0	灰1 灰1	0.47 ± 0.15 0.65 ± 0.22 ND	0.017 ± 0.0056 0.024 ± 0.0081 ND	灰5 灰5	<0.1 0.28 ± 0.06		0.09	0.003
農水産物(精米)	" 天王	"	20(生) 10(生)	0.5 0.7	灰1 灰1	-0.0092 ± 0.11 ND 0.53 ± 0.16	0.000 ± 0.004 ND 0.020 ± 0.006	灰5 灰5	<0.1 0.10 ± 0.03		0.03	0.001
農水産物(ハクサイ)	" 赤和瀬	昭和62年10月30日	10(乾) 10(乾)	0.1 0.1	灰1 灰1	1.1 ± 0.16 0.91 ± 0.23	0.04 ± 0.006 0.034 ± 0.009	灰5 灰5	<0.1 0.09 ± 0.02		0.03	0.000 0.001
農水産物(ハクサイ)	" 天王	"	10(乾) 10(乾)	0.1 0.1	灰1 灰1	2.4 ± 0.22 2.02 ± 0.31	0.089 ± 0.008 0.075 ± 0.011	灰5 灰5	<0.1 0.10 ± 0.02		0.03	0.000 0.001
農水産物(ウグイ)	" 吉井川(奥津)	昭和62年8月2日	50(生) 20(生)	0.1 0.2	灰1 灰1	1.5 ± 0.28 2.25 ± 0.33	0.056 ± 0.010 0.083 ± 0.012	灰5 灰5	0.4 0.39 ± 0.07		0.13	0.005 0.005

昭和61~62年度(1986~1987年度)、岡山県資料か?(日本分析センター、岡山県環境保健センターの2機関でクロスチェック)

上段:日本分析センター分析、下段:岡山県環境保健センター分析

1Ci=3.7×10¹⁰Bq → 1pCi=3.7×10⁻²Bq=37mBqとして換算

ウランについては、2.97μg/pCiで換算